

このまちの100年

「星ヶ丘」

星ヶ丘一帯は、昭和30年代の星ヶ丘団地の建設から本格的な開発が始まりました。昭和34年には市電が、昭和42年には地下鉄が延伸されるなど交通の利便性も向上。現在では人気の住宅地・商業地、文教エリアとなっています。



大正期

覺王山日暹寺(現在の日泰寺)の奉安塔は、建築家・伊東忠太の設計で、大正7年に完成



大正後期～昭和戦前期

放生池畔の日清戦役第一軍戦死者記念碑。路面電車延伸に伴い、中区役所交差点の中心から移設



昭和戦前期

男女青年団の幹部や指導者の養成などが行われた、昭和塾堂



昭和前期

鶴舞公園の動物園が移転し昭和12年に開園した、東山動物園



昭和34年

星ヶ丘団地(中央の建物群)。団地の手前に見える森は、現在星ヶ丘テラスになっている



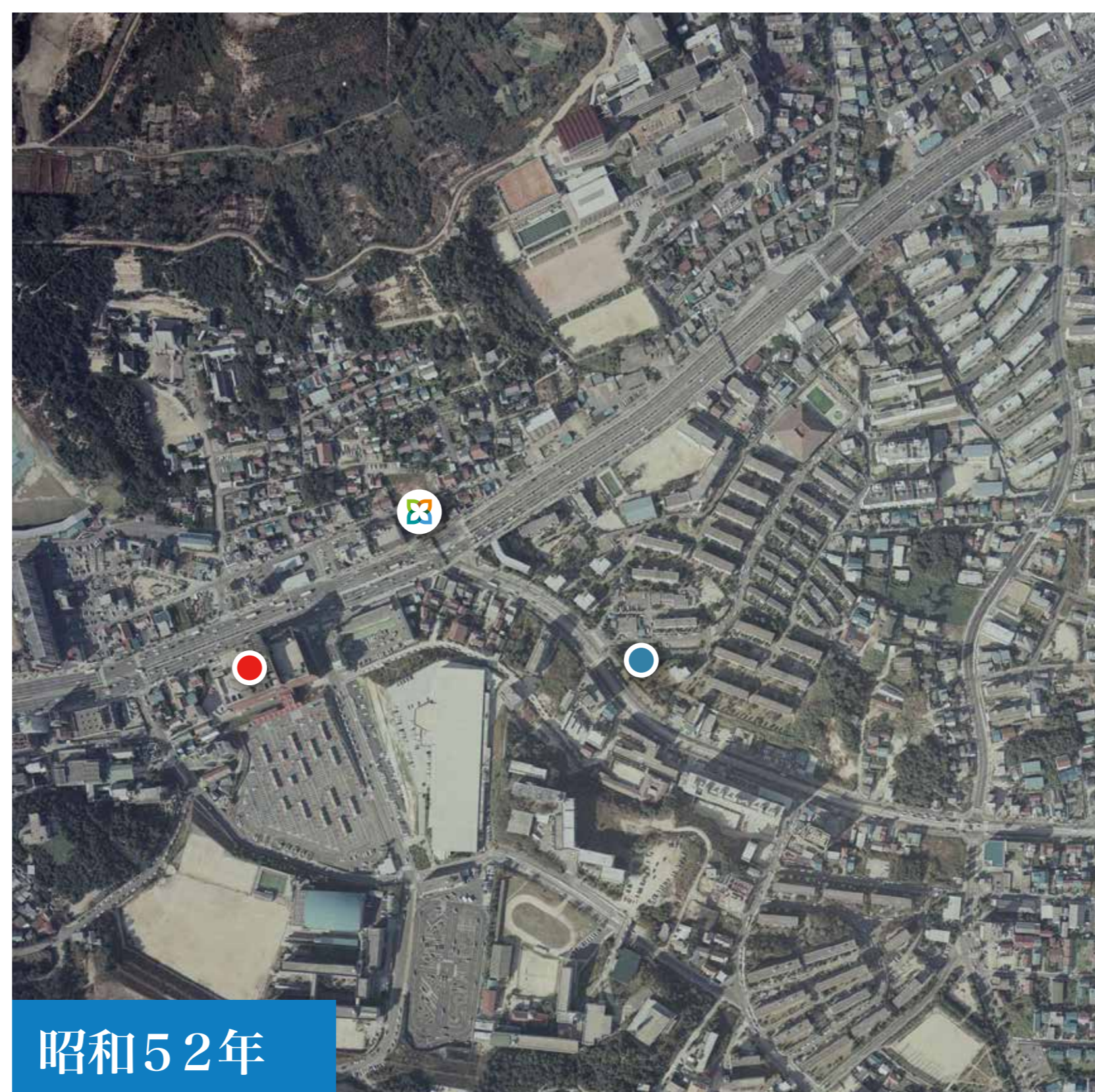
昭和48年

星ヶ丘第一ビル。3～5階は愛知県住宅供給公社の住宅だった

上空からみた星ヶ丘エリア



昭和24年



昭和52年



令和2年

⊠ : 現在地
● : 星ヶ丘団地/アーバンラフレ星ヶ丘 ● : 東山動植物園 星ヶ丘門 ● : オリエンタル中村 星ヶ丘店/星ヶ丘三越

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ